

魅力ある刈谷市とす

～住みよい、住み続けたい刈谷市を

目指して、各委員会で先進都市を視察～

※印が掲載した項目です。

◆文教委員会 (10月21日～23日)

- ※東京都荒川区
タブレットPCの全小中学校導入について
- 千葉県市原市
小中一貫教育について
- 千葉県君津市
英語教育推進事業について

◆建設水道委員会 (10月14日～16日)

- 山梨県甲府市
歴史公園の整備について
- ※長野県松本市
次世代交通政策について
- 富山県富山市
コンパクトなまちづくりについて

◆福祉経済委員会 (10月21日～23日)

- ※石川県加賀市
子育て支援施策について
- 富山県魚津市
認知症対策について
- 富山県高岡市
中心市街地賑わい創出開業等支援事業について

◆企画総務委員会 (10月14日～16日)

- ※栃木県宇都宮市
女性職員の活躍推進について
- 東京都墨田区
地域ぐるみの防災対策について
- 千葉県市川市
防犯対策の取り組みについて

タブレットPCの全小中学校導入

～わかりやすい授業、メディア活用能力向上～

文教委員会委員長 神谷 昌 宏

目 的

平成26年に全小中学校にタブレットPCを導入した経緯、実績を学ぶことで、今後の刈谷市におけるICT教育事業の推進に向けた取り組みの参考とする。

視察内容

授業では、タッチペンを使っての繰り返し学習、インターネットでの調べ学習、教室の電子黒板と連動した発表、体育でのカメラを使ったフォーム確認、海外の学校とネットワークを使ったテレビ会議など、タブレットPCの能力を様々な形で活用し、教育に取り組んでいた。

わかりやすさとメディア活用能力向上を目的としたタブレットPCの導入は、生徒にも好評であった。また長期的にはグローバルな人材を育てていくことが目標とのことであった。

感想・成果

今年度、本市では各学校に1台ずつ電子黒板を導入した。今後タブレットPCを導入することで相乗効果が期待できる。しかし、導入にあたっては図書館等での調べ学習をはじめ、学習の基本となる「読み・書き・計算」とタブレットPCをバランスよく連携させることが大切であり、それによって効果もより期待できるものになると感じた。



タブレットPCの活用状況

公共交通を軸に歩いて暮らせるまちづくり

～渋滞緩和・少子高齢型人口減少社会に対応～

建設水道委員会委員長 松永 寿

目 的

刈谷市は自動車産業が盛んな影響もあり、通勤・物流による交通渋滞が絶えないため、松本市の「次世代交通政策」から渋滞緩和に有効な取り組みを学ぶ。

視察内容

次世代交通政策の理念は「①車を優先した社会からの転換②歩行者・自転車・公共交通の優先③エコで快適な移動により人が集う交通のまちづくり」であり、少子高齢型の人口減少社会に対応するため、「自動車に頼らず、公共交通を軸に歩いて暮らせる集約型まちづくり」を目指している。具体的な取り組みとして、バス路線・運行本数の充実、パークアンドライドの設置（鉄道駅・バス停付近に駐車場を設け、公共交通機関への乗換えを推進する施策）のほか、中・長期的には、バス優先レーンの設置、バス高速輸送システムの導入を目指している。

感想・成果

「健康寿命延伸都市・松本」を目指し、今後の人口減少社会を捉えて交通施策を推進しており、歩いて暮らせる健康なまちづくり・まちの賑わいの両立という点で、非常に有効な施策である。刈谷市も“人と自動車の両立”を前提に、渋滞解消と歩いて暮らせるまちづくりを目指し、新しい発想による、思い切った施策の検討が必要と感じた。



人口減少社会を見据えた交通対策を学ぶ

次世代育成に向けた子育て支援施策を学ぶ

～産み育てたいと思えるまちづくりを～

福祉経済委員会委員長 上田 昌 哉

目 的

人口減少・少子高齢化が進む中、時代のニーズとかがみ合った環境整備を整える必要があるため、子育て支援先進市の取り組みを学ぶ。

視察内容

加賀市の子育て環境は、保育園の待機児童などの問題はないが、共働き世帯が多く、安心して子どもを産み育てられる環境を整えたいということから、新規事業として、

- ①こども医療費助成の拡大
- ②三世代ファミリー同居・近居促進事業
- ③出産準備手当給付事業

をはじめた。出産準備手当給付事業（胎児1人につき1万円を支給）は、申請がきっかけとなり、保健師が相談や保健指導に応じる場面も増えるなど、負担軽減のみならず、出産や育児不安の解消にも繋がっている。

感想・成果

加賀市には刈谷市にはない制度が多くあり、特に三世代ファミリー同居・近居促進事業は、子育てのみならず、高齢化社会への対応策としても有効な施策であると感じた。

今回の視察を通じて、刈谷市もより具体的な行政施策や現行制度の見直しを行っていく必要があると感じた。



子育て支援の先進事例について学ぶ

女性職員の活躍推進に向けた取り組み

～女性が輝けば組織はさらに輝く～

企画総務委員会委員長 中嶋 祥 元

目 的

刈谷市では子育てを行う女性職員の活躍推進に向けた取り組みを推進している。仕事・家庭・子育てを両立していくための環境づくりについて、先進事例を学ぶ。

視察内容

宇都宮市では、女性の視点や強みを行政運営に活かし、組織力強化に最大限の力が発揮されるよう「女性職員活躍推進アクションプラン」を策定している。策定の中で女性管理職による検討会や女性職員からのヒアリングを行うなど、女性の視点での課題や対応策の提言を踏まえた計画となっている。

重要課題を女性監督者の養成とし、キャリア意識向上に向けた研修やキャリア・アドバイザー制度が進められている。

また、育児参加計画表を導入し、出産前から上司や部下とのコミュニケーションツールとして有効活用されている。

感想・成果

広く女性職員の声を聞きながら計画策定が進められ、施策や事業を階層・体系立てて組み立てられている。

中でも女性のキャリア形成に対する支援に力点が置かれているが、実際に女性職員のモチベーションや昇任意欲に結びつく施策が十分かどうか、今後のフォローアップが重要と考える。



育児参加計画表を導入し、上司や部下とのコミュニケーションツールとして有効活用

委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

刈谷市人口ビジョン（人口の将来展望）の考え方
○人口の将来展望
2060年（45年後）に総人口16万人を維持する
○合計特殊出生率の向上
2040年に2.07を実現
○若年世代の転出抑制
暮らしやすいまち、子育てしやすいまちとしての魅力を高める
（問）将来都市像の考え方やその実現に向けた施策の推進をどう考えているか。
（答）20代後半から30代の若年世代とその子の世代の流出を抑制する施策を推進し活力あるまちづくりに努めていく。

福祉経済委員会

認知症早期発見・予防施策について
（問）認知症対策として、医療機関等とどのように連携しているのか。
（答）認知症高齢者を抱える家族の悩みを専門医が相談に応じる認知症個別相談を毎月実施している。また、認知症初期集中支援チームの設置に向け、医療機関等と協議を進めている。

建設水道委員会

民間業者の杭施工物件における不具合について
（問）杭施工物件に東刈谷小学校が含まれていた。懸念されるのが地震災害。緊急の対策の必要はないか。
（答）杭が支持層に達していること、施工データの転用、過失、改ざんがないことを確認しており、安全性が担保されている。このことから、緊急の対策は不要と考えている。

文教委員会

刈谷市歴史博物館基本設計について
建設場所 逢妻町4丁目
規 模 地上2階
延床面積 4,087㎡
（問）刈谷市独自の機能や人呼び込む仕掛けは。
（答）刈谷の縄文時代、刈谷藩と城下町刈谷発の近代化の萌芽の3つのテーマを中心に常設展示を行う。また、国宝や重要文化財の企画展示も考えている。その他、万燈を担ぐ体験ができるのは大きな魅力と考えている。

議会イベント

◆中学3年生が議会を体験
市内の中学3年生が、「地方自治制度学習」として、刈谷市議会を訪れました。生徒は図書館の新設案を題材に、その賛否を議論しました。討論では、高齢者などの交通弱者にやさしい施策であるため賛成と、いった意見や、近隣市を含め広域的には図書館は充足しているため反対であるとの意見が出るなど、白熱した討論が展開されました。生徒の感想を掲載します。
一度自分の目で直接議会を見たい。
・あと3年、18歳で私も政治に関わることになる。日本や刈谷のためにどうして譲れない意見を持った大人になりたい。
・市議会のHPで、一般質問の映像を見ました。真剣な議論を見て、投票率の低下は極めて深刻と感じた。市民はHPをチェックするべき。
・市民が一番近い市議を責任を持って選び、住みやすい市であり続けられるように市の取り組みに関心をもちたい。



議会の様子